

転科・転部、編入学、学士編入学およびこれに伴う単位認定に関する学科規程

本件は、社会基盤コース（JABEE 対応）と社会システムデザインコースの両コースについての学科の方針であり、転科・転部、編入学、学士編入学の応募については大学の案内に基づく。

作成2011. 11. 18 微修正・追加15. 4. 17

1. 転入・編入学

1) 転科・転部

(1) 他学科・他学部からの転科・転部は、受験生が1年次終了時点では本学科2年次に転入する。

2) 編入学（学士でない場合）

(1) 高専・他大学の土木系以外の理工農学科からの受験生（高専4～5年次終了生、大学1～3年次終了生）は、本学科2年次に編入する。理工農学科とは、理学系・工学系・農学系を指す。

(2) 高専・他大学の土木系工学科からの受験生（高専4～5年次終了生、大学1～2年次終了生）は、本学科2年次に編入する。土木系とは農業土木系を含む。

(3) 他大学の土木系工学科からの受験生（大学3年次終了生）は、本学科2もしくは3年次に編入し、年次は編入学試験成績および以前在籍した大学の成績全般による。土木系とは農業土木系を含む。

3) 学士編入学

(1) 他大学の土木系以外の学科からの学士受験生は、本学科2年次に編入する。

(2) 他大学の土木系工学科からの学士受験生は、本学科2もしくは3年次に編入し、年次は編入学試験成績および以前在籍した大学の成績全般による。土木系とは農業土木系を含む。

2. 単位認定

1) 転入・編入学以前の単位の認定手続き

①JABEE 要件（教育目標に位置付けられる科目との関係）および個々の科目の履修計画、さらには履修による成績を加味し、本学科における履修科目との対応が付くと判断される場合、単位を認める原案を作成する。

②上記原案を元にして、工学部教務委員会での審議により決定する。

2) 単位認定の条件（JABEE認定社会基盤コース）

(1) JABEE 認定を受けている学科からの転入・編入学生は、当学科の学習・教育到達目標と異なるため、単位認定条件④と⑤を満たすこと。

(2) JABEE 認定を受けていない学科からの転入・編入学生は、当学科と基本的学習・教育が異なるため、単位認定条件①から⑤を満たすこと。

①15 週の講義がされていること

②学習・教育到達目標がシラバスに掲げられ、それに沿って講義が行われていること

③評価方法と評価基準がシラバスに掲げられ、それに沿って評価が行われていること

④人文科学・社会科学・情報技術・自然科学の科目は、シラバスの内容を調査し、本学と同等以上と認められるもの

⑤専門の科目は、シラバスの内容を調査し、本学と同等以上と認められるもの

(3) 対象科目が専門科目で、土木および土木関連分野の専門科目以外の場合、卒業要件に算入しない。

3) 単位認定の条件 (社会システムデザインコース)

学科で認定されれば、卒業要件124単位 (共通教養科目40単位・専門科目72単位以外) の中に含むことができる。

以上

注意) **JABEE達成表** : 本学科カリキュラムの科目名称と異なる科目の認定がされた場合、JABEE達成度表中の学習・教育到達目標ごとの科目表示にはシステム上の不具合が発生する可能性があることに注意すること。

補則 **先取り授業による単位認定** : 大学入学前に先取り授業によって科目を履修した上合格し、本学科に入学した後対象科目の単位認定を申請した場合、本則に基づいて単位認定を行う。

参考) 土木工学科内コース変更

2011.11

コース変更後の単位認定についても学科が定めている。

■社会システムデザインコースから社会基盤コースへの変更

- ・社会基盤コースの卒業研究着手条件・卒業要件に準拠する。
- ・1年次に取得した単位区分は社会基盤コースの単位区分に変更
ただし、1年後期に社会システムデザインコースのみに配置されている「調査分析演習」については卒業要件に入らない
- ・科目名が同じでも各コースの単位の区分および卒業要件が違うので、1年次の社会基盤コースで選択 B・C となっている科目は取得しておくことが肝要

■社会基盤コースから社会システムデザインコースへの変更

- ・社会システムデザインコースの卒業研究着手条件・卒業要件に準拠する。
- ・1年次に取得した単位区分は社会システムデザインコースの単位区分に変更
ただし、1年後期に社会システムデザインコースのみに配置されている「調査分析演習」は選択必修のため、卒業まで (できれば2年次) に必ず取得する必要がある。

■他学科履修科目について

- ・社会基盤コースは、卒業要件 124 単位の中に含むことができない。
- ・社会システムデザインコース、学科で認定されれば、卒業要件 124 単位 (共通教養科目 40 単位・専門科目 72 単位以外) の中に含むことができる。